

資料提供(投げ込み) 令和5年6月30日(金)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話059-229-3104)	防災室長 山口 敬正

## 令和5年度津市災害対策図上訓練の実施について

発生が危惧されている南海トラフ巨大地震の発生を想定し、災害対策本部の情報収集・伝達活動、初動体制の確立等、本市の災害対応能力の強化を図ることを目的に、下記のとおり令和5年度津市災害対策図上訓練を実施します。

なお、本図上訓練は、災害対策基本法第48条及び津市地域防災計画に基づき実施します。

### 記

#### 1 日時

令和5年7月10日(月) 9時00分～11時30分

#### 2 場所

- (1) 津リージョンプラザ3階 生活文化情報センター(展示室)等
- (2) 各総合支所、消防本部執務室等

#### 3 訓練想定

令和5年7月10日(月)午前7時30分、三重県南東沖を震源とするマグニチュード8.7規模の巨大地震が発生し、市内では最大震度「6強」が観測された。本地震発災直後、気象庁から伊勢・三河湾に大津波警報が発表され、同日午前8時30分、津波第1波が襲来した。市内では、多数の死傷者・行方不明者の発生が見込まれ、家屋の倒壊・火災、道路・ガス・水道等の寸断、土砂崩れ等が発生している。また、沿岸部では大津波による浸水域が広範囲に及んでおり、今後の余震や津波の第2、第3波の襲来等により、さらに被害が拡大することも懸念される。

#### 4 訓練参加者

- (1) 災害対策本部  
本部長、副本部長、災害対策本部員(各部部長を含め5名程度)
- (2) 訓練統制部  
危機管理総務部(応急対応職員を含む。)、消防本部、災害対策本部各支部
- (3) 訓練協力機関  
三重県(防災対策部、津地域防災総合事務所)  
陸上自衛隊久居駐屯地第33普通科連隊  
三重県警察(津警察署、津南警察署)
- (4) 評価者  
三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏

## 5 訓練内容

発災約2時間後を想定したロールプレイング方式（状況付与・予測方式併用）にて実施します。

- (1) 災害発生状況の迅速な把握、情報整理、伝達要領
- (2) 災害対策本部長を核心とする本部中枢体制の機能の確立
- (3) 被害状況に基づく各部の役割に応じた対策立案及び初動対応
- (4) 緊急派遣要員、リエゾンを通じた各関係機関との連携体制、機能の確認

## 6 訓練スケジュール

訓練時間	項目
9時00分～ 9時15分	訓練説明
9時15分～11時00分	9時15分～ 状況付与開始 9時30分～ 各関係機関による調整会議 10時30分～ 災害対策本部会議開催
11時00分～11時15分	アンケート記入
11時15分～11時30分	訓練講評等 三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳氏 災害対策本部長 前葉 泰幸

## 7 その他

訓練当日、津市に大雨、洪水等の気象警報が発表されている場合等、訓練を中止することが適切であると判断した場合は、訓練を中止する場合があります。